

宮崎県版BCPひな形

I. オールハザードBCP策定の考え方……………1（表紙）
 II. 分析・検討シート……………2
 III. 計画シート……………3-4

【オールハザードBCP策定の考え方】

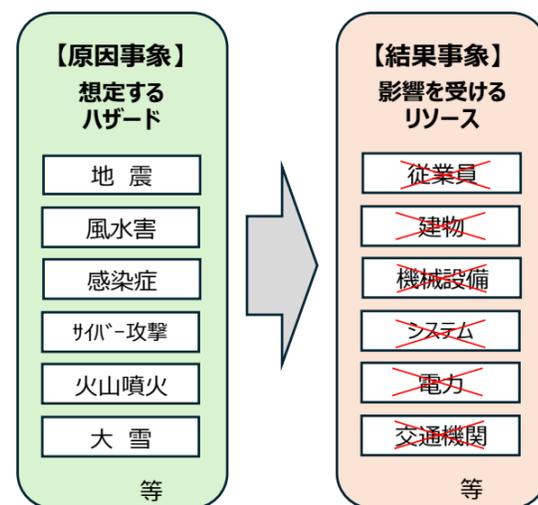
■ オールハザードBCPとは

事業中断を引き起こすいかなる不測の事態が発生したとしても、重要な事業（製品・サービスの供給）を継続するために、いかにして被害を少なくし、早期に復旧・再開させるかを検討し、策定した方針、体制、手順を示した計画のこと。

■ オールハザードBCPの考え方

従来型のBCPは、地震・風水害・感染症等、想定するハザードごとにBCPを作成しています。一方で、宮崎県版BCPひな形を含むオールハザードBCPは、地震・風水害・感染症といった「原因事象」ではなく、影響を受けるリソース（経営資源。例えば、従業員の不足・停電等）といった「結果事象」で戦略を検討します。したがって、従来型のBCPは「原因事象型BCP」、オールハザードBCPは「結果事象型BCP」と言うことができます。

【策定プロセスの概要】 詳細の記入要領については、「BCP策定の手引き」をご参照ください。



＜分析・検討シート＞ 2ページ目

STEP I	■ リスク分析 本社・支社・工場等の立地別に予測可能なリスクをハザードマップ等により洗い出します。また、立地に関係ない全社共通のリスクも把握します。ただし、予測不能なリスクもありうることを理解しておく必要があります。
STEP II	■ 目標設定 何らかのリスクが発生し事業が中断した場合に、ステークホルダーから要求されるであろう事項を想定し、各部門の優先業務を洗い出し、目標復旧時間を設定します。また、各優先業務の遂行に必要な社内外リソースを洗い出します。
STEP III①	■ 戦略検討A リソース別対応戦略 何らかのリスクが発生し事業が中断した場合の、発生後の対応戦略を検討します。 戦略検討Aでは、リソース（経営資源）ごとに被害レベル別の「あるべき姿」「現状、できていること/いないこと」を検討します。
STEP III②	■ 戦略検討B 優先業務の対応戦略（あるべき姿） 何らかのリスクが発生し事業が中断した場合の、発生後の対応戦略を検討します。 戦略検討Bでは、「STEP II：目標設定」で挙げた「各部門で優先して実施する業務」について、「あるべき姿」としての対応戦略を検討します。

＜計画シート＞ 3ページ目・4ページ目 BCPの作成

■ 計画シートの7項目（「1.基本方針」、「2.対応責任者」、「3.重要事業、目標復旧時間」、「4.対応手順（初動）」、「5.対応手順（事業継続）」、「6.資金調達」、「7.事前対策の実施計画」）を記入することで、BCPが完成します。

＜シート項目＞もくじ

2ページ	分析・検討シート	STEP I・II	「リスク分析」⇒「目標設定」	☞ 手引きp.7-9
		STEP III①②	戦略検討A・戦略検討B	☞ 手引きp.10-11
3ページ	計画シート①	基本方針	事業中断をもらたす事態が発生した場合の基本方針	☞ 手引きp.12-13
		対応責任者	総括責任者、本社機能維持担当、事業継続担当の選定	
		重要事業、目標復旧時間	早期復旧が必要な重要事業とその目標復旧時間	
		対応手順(初動)	初動対応の対応手順（避難、負傷者対応、安否確認等）	
4ページ	計画シート②	対応手順(事業継続)	重要事業の対応手順・発生後の対応戦略	☞ 手引きp.15-17
		資金調達	資金面での対策の計画	☞ 手引きp.18
		事前対策の実施計画	事前対策、今後実施すべき準備事項	

STEP I : リスク分析  **手引きp.7**

No	種別	拠点名称	拠点住所	避難場所	地震の震度	津波高・到達時間	洪水：浸水深	土砂災害	その他 (全社共通リスク)
1									
2									
3									
4									
5									
6									

「地震の震度」及び「津波高・到達時間」は、「宮崎県地震・津波及び被害の想定について」の「市町村別最大震度一覧」(P.11、P.6～P.8) (https://www.pref.miyazaki.lg.jp/documents/4579/4579_20200318114347-1.pdf) から確認して記入。
 「洪水：浸水深」は、「宮崎県管理河川の洪水浸水区域図について」(<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kasen/kurashi/shakaikiban/kouzuishinsui.html>) から確認して記入。
 「土砂災害」は、宮崎県「土砂災害警戒区域等マップ」(<https://www.sabomap.jp/miyazaki/>) から確認して記入。

<新型コロナウイルスのリスク分析>  **手引きp.8**

(1) 3密となりやすい場所・時間帯

主管部門	3密となりやすい場所	3密となりやすい時間帯

(2) 欠勤者増の場合に補充が必要な業務

--

(3) サプライチェーン問題 (特に海外での生産、調達がある場合)

商品	生産拠点	調達先会社

(4) 需要の減少

事業	考えられる要因

STEP II : 目標設定  **手引きp.9**

在宅勤務 ○：可能、△：一部可能、×：不可

No	部門	優先業務	目標復旧時間	在宅勤務	社内リソース	社外リソース
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						

STEP III ① : 戦略検討A リソース別対応戦略  **手引きp.10**

○：できている、△：できていないところがある、×：できていない

No	リソース	現地での復旧戦略 ＜建物は無事だが様々なリソースに被害が発生＞			現地での復旧戦略以外の戦略（代替戦略等） ＜建物が損壊して使用不能となるほどの状況＞		
		あるべき姿	現状	現状、できていること/いないこと	あるべき姿	現状	現状、できていること/いないこと
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							

STEP III ② : 戦略検討B 優先業務の対応戦略（あるべき姿）  **手引きp.11**

No	各部門で優先して実施する業務	現地での復旧戦略 ＜建物は無事だが様々なリソースに被害が発生＞	現地での復旧戦略以外の戦略（代替戦略等） ＜建物が損壊して使用不能となるほどの状況＞
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

☞手引きp.12

1. 基本方針 事業中断をもたらす事態が発生した場合には、以下の基本方針に則り対応する。

1	
2	
3	

2. 対応責任者

統括責任者	全社的な意思決定を行い、対応全体を統括する。 (代行者)
本社機能維持責任者	安否確認や安全確保等、本社機能の維持に関する実務を指揮する。 (代行者)
事業継続責任者	重要事業の継続に関する実務を指揮する。 (代行者)

3. 重要事業、目標復旧時間

重要事業	
目標復旧時間	

☞手引きp.13

4. 対応手順 (初動)

(対策本部を立ち上げ、以下の手順で対応を実施します。)

①避難 (含む事業所内のお客様の安全確保)

基準	
避難場所	

②救助・負傷者対応

救助・応急処置道具の所在	
救急搬送先①	(TEL :)
救急搬送先②	(TEL :)

③安否確認

基準		お客様	
対象者	総計 人 (年 月現在)	店舗社員	
集計担当者		本社社員	

※夜間・休日に事業中断をもたらす事態が発生した場合の対応

参集メンバーは事業中断をもたらす事態発生後、安全に移動できることが確認でき次第 (火災等が発生していない、夜間でない等)、定められた場所に参集し、災害対応を行う。

参集メンバー	
参集場所	代替場所:

(1)事業中断をもたらす事態発生直後
直後から可能な限り速やかに

(2)初動対応
直後から24時間以内

統括責任者

本社機能維持担当

<メンバー>

①状況確認

確認対象	担当者 (部門)

②帰宅許可

基準	
対象者	
留意点	
の 残 留 者 対 応	

③備蓄品の状況 (複数事業所がある場合は別紙とする)

品名	数量	品名	数量

※飲料水 (一人1日3リットル) と食料は最低3日分、できれば7日分を準備しましょう。

☞手引きp.14

記入例は、ピーク時(2022年当時)の「業種別ガイドライン (内閣官房)」を参考に作成しています。

<新型コロナウイルスの感染拡大防止対応>

①従業員の健康管理

出勤前 自宅待機・療養	
勤務中	

②勤務体制

勤務体制	
通勤手段	
出張	国内
	国外

③感染防止策

飛沫感染防止	3密の回避	身体距離の確保	
		換気の徹底	
		施設内混雑の緩和	
		飛沫防護	
接触感染防止		清掃・消毒	
		接触の回避	
		その他の感染症予防策	

感染拡大防止対応

☞手引きp.15

5. 対応手順（事業継続）

事業継続対応

重要事業の継続		対応手順			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">統括責任者</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">事業継続担当</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><メンバー></div>					

発生後の対応戦略（現状で出来ること） ☞手引きp.15

NO	各部門で優先して実施する業務	現地での復旧戦略<建物は無事だが様々なリソースに被害が発生>	現地での復旧戦略以外の戦略（代替戦略等）<建物が損壊して使用不能となるほどの状況>
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

☞手引きp.17

<新型コロナウイルスの事業継続戦略>

①作業空間の3密を避けるための戦略

3密となりやすい作業場所	リスク回避戦略	リスク低減戦略

②欠勤増となった重要事業への要員補充

--

③サプライチェーン問題（既定の調達先からの供給停止）への対応戦略

供給停止の可能性のある商品	保有在庫での対応	代替調達先の確保による対応

④需要量減少への対応戦略

需要量減少の可能性のある事業	余剰となる設備を活かした新しい事業	余剰となる人員でできる新しい事業

6. 資金調達 ☞手引きp.18

必要な資金	概要	予想資金（3ヵ月）	
(A) 経営維持費用	従業員への給与の支払い		万円
	買掛金の支払い		万円
	金融機関からの借入金の返済		万円
	その他		万円
(B) 災害復旧費	被災建物の復旧		万円
	被災設備の復旧		万円
	その他		万円

調達可能な資金	概要	予想資金（3ヵ月）	
(C) 利用可能な手元資金（現在の現預金）			万円
(D) 回収可能な売掛金+稼働可能な事業所での売り上げ見込み			万円
			万円
			万円
			万円
必要な資金（合計）	(A) + (B)	0	万円
調達可能な資金（合計）	(C) + (D) + (E) + (F) + (G)	0	万円

7. 事前対策の実施計画（あるべき姿を実現するために今後実施すべき準備事項） ☞手引きp.18

NO	リソース	実施内容	担当部署	目標期限
1				
2				
3				
4				
5				
6				